

呉市議会

誠志会だより

〈No.8〉

発行

誠志会

呉市中央4丁目1番6号
TEL:0823-25-3264

発行責任者

中田	光政	小田晃士朗
福永	高美	岡崎源太郎
橋口	晶	定森健次朗
森本	茂樹	



ごあいさつ

市民の皆様、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
誠志会は皆様の代弁者として、市民一人ひとりが幸せで快適な生活が送れるよう活動しております。そこで、私たちの活動をお伝えするため「誠志会だより No.8」を発行し、我々誠志会の議会での発言を中心に、活動報告ならびに会派の方針についてお知らせいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響で経済が疲弊し、また、日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区（旧日鉄日新製鋼株式会社呉製鋼所）の休止問題が追い打ちをかけることとなり、未だかつて経験をしたことのない困難な状況となっております。

このような状況の下、二元代表制である地方自治体の一翼を担う議会は、市民目線に立った論戦が必然であると考えております。

誠志会は、これからも是々非々での議論をモットーに、この困難な経済状況の打開を第一に考え、福祉の向上そして教育の充実に力を入れて活動して参ります。

今後とも、御意見、御要望を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
誠志会一同

皆様のご意見
お待ちしております。

誠志会は常に市民サイドにたち、市民生活の向上を目指し、皆様方の代弁者として活動して参ります。
どんなことでもご相談ください。

TEL 25-3264 FAX 25-3650
（呉市議会事務局内）
E-mail:kureseishikai@gmail.com

Facebookで
最新情報を発信中！



活動方針

1. 市民目線の新型コロナウイルス感染症対策

市民目線に立った呉独自の感染症対策を進言し、国・県と共に万全な新型コロナウイルス感染症の防止体制を目指します。

2. 人口減少に歯止めをかけるまちづくり

呉市が策定する第5次長期総合計画がより充実して実行できるよう進言し、雇用の創造、若者定住、子育て支援の充実、税収の確保、市民サービスの向上の好循環型社会を目指します。

3. 呉駅周辺の再整備と連動させた商店街まちづくり

中央商店街は昔ながらの老舗や新たな特色を持った事業者の芽が出始めています。呉駅周辺の再整備と連動させた全世代が楽しめる呉中心部エリアの創造を目指します。

4. 海路を含めた交通体系再構築

コンパクトシティ＋ネットワークの推進に必要となるのは、公共交通の再構築です。生活維持のためにも、重要課題である交通手段の確保を目指します。

5. 時代にあった教育環境の整備

トイレや空調整備のハード面と、ICTを活用したソフト面の充実を図り、呉市で学びたい、学ばせたい学校づくりを目指します。

6. 女性や若者が活躍できるまちづくり

女性や若者のチャレンジ応援、雇用創造、そして子育て環境の充実を図り、女性や若者がまちづくりに参画し、多世代が賑わうまちを目指します。

7. 「道の駅」の整備

呉市の特徴を生かした賑わい拠点の整備を進言し、農林水産業のさらなる発展と地域コミュニティ活性化の創造を目指します。

8. スポーツによる地域活性化

誰もが楽しく行うスポーツから、全国レベルを目指すスポーツまで、幅広い選択肢がもてるまちを目指します。

9. 議員定数の削減〈32名→28名〉

「議員自らが身を切る改革」をスローガンに、市民から信頼される議会に、そして将来的には人口1万人にひとりの議員を目指します。

10. 職員体制の再構築

専門性が高い技術職員の採用の充実と、デジタル化による業務効率を進言し、市民サービスの向上を目指します。

令和2年 6月議会 代表質問から



定森健次朗議員

新型コロナウイルス感染症などを 見据えた市の考えを聞く

定森議員 事業活動や外出の自粛による売り上げの減少などにより、多くの事業者に大きな影響が出ており、呉市にとっては「平成30年7月豪雨」、「日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区の全面休止発表」及び「新型コロナウイルス感染症」の3重苦になっていると考えます。これらの問題に対しどのように市政を進めていくのですか。

市長 新型コロナウイルス感染症や日本製鉄の高炉等の休止発表を乗り越えて、新たにチャレンジする事業者を応援するため、呉市の独自策として助成制度を創設したところです。多様な中小企業、小規模事業者が自助努力と創意工夫により繁栄し、呉の産業が厚長大な産業だけに頼らない、強靱なものとなるよう努めていきます。

【呉駅周辺地域総合開発について聞く】

定森議員 4月20日に呉駅周辺地域総合開発基本計画が発表されました。基本計画の概要はどうなっていますか。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて進捗状況に影響はありますか。

市都部長 呉駅周辺地域総合開発基本計画では、次世代のまちなか居住エリアの創出を目指しています。現在、検討作業を進めている事業計画では、交通ターミナルの整備と合わせて、そごう呉店跡地に複合施設を整備するという、いわゆる第1期開発について策定する予定としています。

今年度中にプロポーザル等により民間開発事業者を選定し、より詳細な計画を策定する予定としていますが、新型コロナウイルス感染症により、全国的に商業開発ニーズが低下傾向にあります。プロポーザルの実施時期については、その影響を見極めながら慎重に検討したいと考えています。

定森議員 呉三津田高校の社会探究プロジェクトの発表会では、呉駅周辺での新しい駐輪システムの提案が行われました。こういった若者の意見こそ、駅周辺の開発に取り入れていくべきではないかと考えておりますが、具体的な方策を考えていますか。

市都部長 昨年度は、若者も含む幅広い年齢層を対象に無作為によるアンケート調査等を実施しました。

今後、若者の意見を駅周辺開発に取り入れていく手法として、この呉三津田高校の社会探究プロジェクトのほか、出前トークが活用できると考えています。また、今年度も予定している交通社会実験では、交通問題などの個別のテーマでワークショップを開催することも考えております。

こうした手法を活用し、若者の多様な意見を事業計画策定に生かしていきたいと考えています。



令和2年 9月議会 代表質問から



福永高美議員

新型コロナウイルス感染症の 取組を聞く

福永議員 今年の3月頃から、日本でも少しずつ感染が広まり、呉市でも、4月18日に市内1人目の感染者が発生して以来、その後も新型コロナウイルス感染症の感染者が発生し続けております。市民の皆様は、この終わりの見えない感染症の脅威に対して、とても恐怖を感じており、自粛に疲れも感じています。呉市の感染症対策の状況及び感染拡大防止について市長はどのように考えていますか。

市長 新型コロナウイルス感染症対策は現下の私にとりまして最重要の課題だと考えています。市民が安心して生活できるためにも、感染症対策を着実に実施していかなければならないと考えております。

市民からの相談については24時間対応のコールセンターを設置しています。その上で、発熱等の症状のある方については、かかりつけ医への受診をお勧めし、状況に応じて、医師会の地域外来検査センターでの検体採取や帰国者・接触者外来での検体採取の紹介をしていたいただいています。保健所は、早急に積極的疫学調査を行い、感染拡大防止に必要な情報については、個人情報に配慮しつつ、市民の皆様にご連絡をいただいております。最新の調査結果を続報として公表しています。

市民の皆様には、市長メッセージを発信させていただいており、「3つの密」を避ける、マスクを着用する、手洗い・席エチケットに気を付ける等の「新しい生活様式」を徹底していただくようお願いしています。

福永議員 市民が特に心配に感じていることは、どこで感染が発生しているのかということです。感染者のプライバシーを守るためにも、氏名や住所まで公開すべきとは思いませんが、住んでいる地区名ぐらいは公表しないと、市民は不安を抱えて過ごさなければならなりません。市民に関心がある情報は是非とも公開するべきだと思いますが、このことについて市はどのように考えていますか。

福祉保健部長 広島県では、陽性判明後速やかに感染者の年代・居住市町・症状・入院等の状況及び他事例との関係に絞って公表する方針を定めており、本市もこの方針に従い、お住まいの地区等は公表していません。

緊急事態宣言が変更されて以降、移動の自粛が徐々に緩和され、その行動範囲が広がっていることから、感染症患者が居住しておられる地区に限らずどの地区でも感染する可能性があり、居住地区名を公表することが感染拡大の防止につながる実情があること、また、感染者の個人情報保護に配慮しつつ、不安や心配をできるだけ取り除いて、積極的疫学調査に協力しやすい環境を整えることで、感染者やその接触者から支障なく聞き取りが進められるようにする必要があるためです。

一方で、集団発生の事例不特定多数との接触が疑われる事例は、個別に詳細を公表し、感染拡大防止のために必要がある場合には、施設名等も含め積極的に公表することとしています。



令和2年 9月議会 決算特別委員会から



橋口晶議員

災害時の開設避難所の 在り方について聞く

橋口委員 第1開設避難所と地域開設避難所の定義について伺います。

危機管理課長 第1開設避難所の定義として、災害起きた時に最初に開く避難所が第1開設避難所です。地域開設避難所の定義は、市役所の職員が開けるわけではなく、地域の方が主体となって開ける避難所です。

橋口委員 以前は第1開設避難所に行っていた方が、地域開設避難所へ避難し、今は近くの避難所に安全に避難できるようになり、本当に感謝をされていました。第1開設避難所であるうと地域開設避難所であるうと、市民にとっては同じです。地域によっても温度差があると思いますが、実際に避難されている方が、第1開設避難所よりも地域開設避難所に避難する実態も多くあります。第1開設避難所と地域開設避難所の避難割合を把握されていますか。

危機管理課長 実際の避難割合の情報は持っています。大災害になると、地域開設避難所に避難される方は、おそらくたくさんいらっしゃると思います。詳細なところまではつかめていないというのが現状です。

橋口委員 地域開設避難所では、今はコロナ禍ということもあり、氏名などを書くようになっていっていると思います。システムを整備とすれば、避難者の数は十分に把握できるのではないかと思います。建物の規模や地域開設避難所を第1開設避難所に変更するという可能性を考慮しながら、地域実態に合わせた適用、運

用をお願いします。

【消防庁舎等整備事業について】

橋口委員 呉市東消防署川尻出張所の耐震診断業務が実施されていますが、耐震結果について、伺います。

消防局参事補 川尻出張所は昭和44年に建設したもので、市内で唯一耐震構造になっていないため、昨年度に耐震診断を行いました。その結果、D判定を受けています。この結果は、個別施設計画と併せながら考えていきたいと思っております。

橋口委員 耐震補強はできないという解釈でよろしいですか。

消防局参事補 はい、そのとおりです。

橋口委員 個別施設計画を見ると、令和7年に庁舎を建替えるという計画になっている。先ほどの話だと、建て替えを要する防災拠点ということになるが、令和7年の更新で問題はないのですか。

消防局参事補 現在の場所がよいのか、新たな場所がよいのかを、令和7年を見据えながら検討していきたいと考えています。

橋口委員 耐震性がないということが分かっていますので、できる限り早い整備をお願いします。



防災拠点である川尻出張所

令和2年 9月議会 決算特別委員会から



小田晃士朗議員

特別教室の空調整備について聞く

小田委員 小学校および中学校の大規模改修事業について伺います。この事業は、いずれも普通教室への空調設備整備を行ったとの記載がありますが、普通教室の空調整備は平成30年度で終了したと認識しています。どのような整備をしたのですか。

学校教育施設課長 普通教室へ整備は、平成30年度時点の普通教室には100%対応しました。普通教室の考え方として、特別支援学級の教室も普通教室でカウントしており、この度の整備はいずれも特別支援学級数の増加に対応したものです。

小田委員 特別教室の空調設備は、現在、何台あって何台の設置数になっていますか。

学校安全課長 特別教室のエアコンは、図書室、PC教室、中学校では音楽室に整備しています。現在680の室数に対して、145の教室に設置しており、設置率は21.3%です。

小田委員 この現状の数字を鑑みても、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金に特別教室のエアコン設置を予算計上されなかった理由はありますか。

学校教育施設課長 整備内容、施工期間の問題や対象数が多いこともあり、一度に整備するのが難しいということ、そしてコロナ禍を受けて感染症対策として換気を含めて考えなければならなかったため、この度は予算計上していませんでした。一方で、今年度はコロナ禍の対応として8月に授業実施したところ、特別教室の室温は30度を大幅に超えていると

報告を受けております。トイレの洋式化同様、PTAからも毎年のように要望を受けています。今後、特別教室の熱中症対策として優先的にどの地区、どの教室を整備するのか、100%整備するのか、何年かけて整備するのか、財源はどうするのかなど、諸課題の整理をしながら研究していきます。

小田委員 子供の教育の環境整備費は、今回の決算も含めて考えるとごく少ないと思います。空調のことにしても、毎年PTAからも何とかならないのかという要望がずっとあったのだらうと思います。新原市長は子育てしやすいまちづくりを掲げられています。子供に対する投資は、市民が子供を育てやすいまちだと強く感じると思いますが、是非とも研究していただきたいと思



子ども・小・中学校への投資が望まれる

大学生のインターンシップを 受け入れました。

誠志会では、2年連続3度目の議員インターンシップ学生（NPO法人ドットジェイピーの大学生派遣事業）を2月から約2カ月間受け入れました。

我々は、若者と自分たちの地域についてしっかり議論し、共に未来を創っていくことが非常に重要と考えています。議員が普段何をしているかを理解してもらいつつ、団体プログラムの「30年後の未来」に向けた政策発表などを通じて、今の若者の意見をしっかりと受け取りました。



令和2年 11月議会 市議会協議会から



中田光政議員

新型コロナウイルス感染症の 事業者支援について聞く

中田議員 商工関係での新型コロナウイルス感染症の対策として、くれまち店舗応援プロジェクトや呉市ビジネスモデル転換支援事業が進んでいます。呉市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づいて、やる気のある事業者に対して補助するという姿勢は理解していますが、例えば、くれまち店舗応援プロジェクトでは、プレミアム付商品券の早期の売り切れが生じ、また、呉市ビジネスモデル転換支援事業では、採択事業者の公開がないなどの問題があり、その施策の在り方、公表方法、公平性について、様々な意見が出ています。

そこで当局は、これらの問題をどのように考えているのですか。また、今後予算の増額はあるのでしょうか。

産業部長 くれまち店舗応援プロジェクトは、10月上旬から制度を開始したもので、コロナ禍で影響を受けた事業者が、自らの創意工夫により消費を喚起する取組を応援するものです。既に複数の事業者がプレミアム商品券事業などを行っており、中には、販売開始後2日で完売するなど、市民の皆様から、商品券が購入できなかったとの意見もいただいています。本事業はコロナ禍での緊急的な施策でもあり、実施団体としても早めの広報ができていなかった面もあるのではないかと思います。

一方、事業者からは、すぐに現金化できることなどから資金繰りの面においても大変ありがたいという声も伺っており、民間なら

はのスピード感を持った取組が功を奏したものと考えています。

なお、公平性を保つための販売手法等については、事前に相談を受けた際、本市としてもできるだけアドバイスなどを行っています。が、最終的には実施団体の自主性に委ねているため、その点は何とぞ御理解をいただきたいと思います。

また、呉市ビジネスモデル転換支援事業については、2回目の公募の締切りが終わり、審査中です。現在、第1回締切り分の採択事業者については補助金の交付申請を受け付けているところであり、交付決定後にはホームページ等で公表する予定です。

これらの2事業は想定以上の反響があり、ただいま多くの申請を受け付けています。また、新型コロナウイルス感染症で影響を受けている事業者の支援として有効な施策であると考えているため、今後、予算の執行状況を見極めながら、補正予算等を含めた予算の増額等により、できるだけ多くの事業者を支援していきたいと考えています。

中田議員 この2つの事業は大変好評のため、これからも頑張っていくと聞いていますが、今後また、いつ新型コロナウイルスの感染者が増えるかは分かりません。当局においては是非ともスピード感を持って、各事業の予算追加と併せて、しっかりとした制度設計や制度管理を行ってください。



令和2年 12月議会 代表質問から



岡崎源太郎議員

道の駅の設置の考え方について聞く

岡崎議員 道の駅は、車の休憩所としての目的が主でしたが、地元産品の販売所としての価値が高まっています。道の駅巡りの魅力は色々なものが売っていることです。道の駅に対し、呉市はどのように考えていますか。

市長 道の駅は、本来、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供、地域の振興に寄与することを目的として設置されるものです。近年では、道の駅自体が目的地となり、地域の新鮮な特産品を購入し、その場で味わうことができるなど、観光スポットとなっているところも数多くあります。

国土交通省は、道の駅の第1ステージを「通過する道路利用者のサービス提供の場」、第2ステージを「道の駅自体が目的地」と位置付け、今年度からは、第3ステージとして「地方創生・観光を加速する拠点」とも位置付け、新しいまちづくりの拠点としての役割が追加されてきています。

道の駅の整備を行うことにより、にぎわいの創出、防災機能の強化、観光施設との連携が確保できれば、雇用場が生まれるなど、さまざまな相乗効果も期待でき、地方創生を加速する拠点となるものと考えています。

岡崎議員 誠志会では毎年の予算要望で、農林水産業の起爆剤とするために道の駅を提案しています。呉市は牡蠣とレモンが日本一となるなど日本の食文化も堪能できます。道の駅を活用する考えはありますか。

農林水産担当部長 道の駅などの直売所

は、地産地消の推進や、地元のブランド品を販路拡大する上で有効であり、牡蠣やレモンなどを売りにすれば、集客力があると考えています。

道の駅で売られる産品は、生産者の顔が見えることで消費者は安心を、生産者は、やり甲斐と生産意欲を高める効果がありますので、道の駅を活用する考えは持っています。

土木部長 呉ポートピアパークは、今年で開園20周年を迎え、多くの方に親しまれ、年間約40万人以上の来園がある公園です。

この公園に道の駅を整備することになりますと、道の駅とは別に公園専用の駐車場を確保する必要があります。公園レイアウトの見直しや道の駅が毎日24時間利用できる施設でなければいけないことから維持管理費が増加することなど多くの課題があります。

また、呉ポートピアパークの駐車場は、クレラインの4車線化の整備に合わせてインターチェンジなどに使用することも考えられますので、国や県とも十分に協議する必要があります。

いずれにいたしましても、呉ポートピアパークは、開園以来、多くの方にご利用いただいている公園でございますので、地元の方や民間の方の意見を踏まえ、庁内関係各課とも連携して、この公園のあり方について今後も研究していきます。

